

日立市立学校再編計画の改定方針等

1 日立市立学校再編計画

(1) 基本的な考え方

ア 学校の規模が小さくなると、人間関係の広がり、学習形態の多様さ、課外活動の種類などが制限され、本来、それらを通して得られる社会性や人格形成に必要な成長の機会を狭めてしまうことが懸念されます。

イ 児童生徒の習熟度に応じたきめ細やかな学習指導や生活上の指導、教員の相互研修、児童生徒と向き合う時間の確保など、一定の学校規模を確保することで、教員の配置が充実し、多様な指導体制や学校運営体制を整えることが可能になります。

(2) 計画改定の経緯

ア 本市の学校再編は、20年先を見据えて進めることとしており、令和3年から令和12年までの10年間に取り組む具体的な内容を明らかにするため、日立市立学校再編計画（第1次計画）を策定しています。

イ 本計画は、令和3年2月に策定した当初から児童生徒数の推移などを踏まえて、3年程度を目安に学校再編の進捗状況を検証した上で計画の見直しを行うこととしており、学校再編計画改定検討委員会（以下「検討委員会」という。）において、計画改定方針のポイントのとおり進めることとなりました。

ウ 計画改定方針のポイント

①大沼小学校の分割統合は行わずに、当面、河原子小・水木小・大沼小は現在地で存続します。

②河原子中学校は比較的距離の近い大久保中学校に統合し、泉丘中学校は存続します。

※ 現在の計画：①大沼小学校の学区を南北に分割し、北部を河原子小学校に、南部を水木小学校にそれぞれ統合する。②分割統合後の大沼小学校の跡地に、河原子中学校と泉丘中学校の統合校を新設する。

エ 計画改定の理由

(ア) 大沼小学校の児童数（489人<R7.5.1現在>）は、計画策定時の令和7年推計値（403人）と比べて、86人多い状況となっています。

※ 児童数増加の要因・・・BRT沿線区域における宅地造成助成の成果など

(イ) 小学校は地域とのつながりが深いことや、遠距離通学の負担が小学生には大きいことから、複式学級の可能性がない場合は、小学校の存続を求める声

が多くあります。

2 これまでの検討経緯

(1) 河原子学区住民説明会の開催

ア 第1回

(ア) 計画の改定を検討するに当たり、河原子学区の住民に影響の大きい河原子中学校の統合について、事前に住民の皆様の説明のため開催しました。

(イ) 日時等

9 / 19 (金) 18:30~19:50

河原子交流センターホール 出席者28名

(ウ) 主な意見及び回答

①統合に伴い河原子学区から大久保中に通学する際、国道6号を横断させるのは危険であり、自転車通学をさせる場合、自転車専用道路がなく危険である。

→通学の安全性や通学支援については、統合準備委員会に設置する通学部会において協議を行います。市内の小中学校において現在、国道6号を横断し通学している塙山小等の事例を踏まえながら、通学方法を検討していきます。

②河原子中と大久保中が統合となった場合、統合時期はいつごろの見込みか。

→今年度内に計画が改定された場合、これまでの実績から統合準備期間に3年程度を要するため、統合は令和11年度以降になる見込みです。

③今後の部活動の地域展開を踏まえ、中学校の統合をどのように考えているのか。

→部活動は、現在、土日の地域展開を進めています。当面、平日は学校で部活動を実施するため、生徒が希望する部活動を選択できるよう学校再編を進めていく必要があると考えています。

イ 第2回

(ア) 第1回住民説明会における意見や、河原子小と河原子中の保護者の皆様に検討方針(案)を通知した際に、寄せられた質問等に対して回答するため開催しました。

※ 回答した内容は、河原子小・中学校の保護者の皆様にマチコミメールで通知しました。

(イ) 日時等

11/26 (水) 18:30~20:10

河原子交流センターホール 出席者23名

(ウ) 主な意見及び回答

①誰もが統合に納得することは難しいと思うが、特に通学の安全性について考慮してくれれば、不安な気持ちが少しでも減るのではないかと思う。

→生徒の皆さんが安心して通学できるよう通学部会で検討を進め、不安を少しでも軽減できるよう通学支援などの検討を丁寧に進めていきます。

②河原子から大久保中への通学は遠距離となるが、スクールバスの運用を検討するのか。

→再編計画では、統合に伴い通学距離が延伸し通学が困難になる場合は、関係機関との協議の上、公共交通機関（路線バス）の活用を検討していくこととなっています。

③今後の進め方について、今回の改定方針（案）を検討委員会で協議し、その後、統合準備委員会を設置する流れになるのか。

→本日もいただいた意見等を踏まえ、河原子小・河原子中のPTA会長、学校長、地域コミュニティの代表と協議を行い、学校再編計画改定検討委員会で改定方針（案）が承認されれば、統合準備委員会を設置していく流れとなります。

(2) 学校再編の進め方に関するアンケート調査の実施

ア 河原子コミュニティ会長、河原子小・中学校のPTA会長及び学校長と協議したところ、説明会では通学に関する課題などの発言が多く、学校再編を進めることについて全体的な意向を把握することが難しいため、河原子小・中学校の保護者の皆様を対象にアンケートを実施することとしました。

イ アンケートの概要

期間：12/10（水）～19（金）

対象：両校の全保護者（190世帯）

方法：マチコミメール（Eメール連絡網）で実施（一世帯一回答）

質問内容：お子さんとの続柄について、お子さんが在籍している学校・学年について、計画の改定検討方針（案）において、河原子中学校と大久保中学校の統合を検討しており、これから学校再編を進めることについて

ウ 結果

(ア) 回答率56% (回答件数106件/対象数190世帯)

- | | | |
|---------------------|-----------|-------------|
| ① 学校再編を進めるべき | 14% (15件) | } 73% (77件) |
| ② 学校再編を進めることはやむを得ない | 59% (62件) | |
| ③ 学校再編を進めるべきではない | 27% (29件) | |

(イ) 保護者からの要望等

- ① 海岸地区などから遠距離通学となる場合は、通学支援を検討してほしい。
- ② 自転車通学の実施などを踏まえ、安全に通学できるよう道路整備を行ってほしい。
- ③ 統合時に中学3年生となる生徒は受験を控えていることも含めて、精神的負担に配慮してほしい。

⇒回答者の7割以上の保護者が「進めるべき」又は「やむを得ない」と回答している結果を踏まえ、河原子小・中のPTA代表、学校長、河原子コミュニティ会長と協議を行い、改定方針（案）のとおり進めていくこととなりました。

⇒なお、「学校再編計画改定検討委員会において改定方針（案）が承認され、統合準備委員会が設置された際は、保護者から要望の多い通学支援策等について可能な限り対応し、円滑な統合に向けて検討してほしい。」との意見がありました。

3 検討委員会における改定方針の協議内容

ア 検討委員会の開催

日時	主な内容
令和7年5月	第1回検討委員会を開催し、検討の進め方等について協議。
8月	第2回検討委員会を開催し、計画の改定方針（案）について協議。
令和8年1月	第3回検討委員会を開催し、住民説明会の概要や学校再編のアンケート調査の結果等を踏まえ、計画の改定方針（案）のとおり進めることについて承認を得た。
3月 (予定)	第4回検討委員会を開催し、計画の改定（文言の整理）について協議を行う。

4 統合に向けたスケジュール等

(1) 統合の概要

項目	内容
統合対象校	河原子中学校・大久保中学校
統合後の学校の位置	現在の久保中学校の場所
統合の目標時期	令和11年4月
統合の考え方	学校再編計画に基づき、学校の統合は学校の規模にかかわらず対等なものとし、両校とも一度閉校した上で新しい学校を開校することを原則として協議を進めます。
統合の進め方	①統合対象校の学校関係者、保護者、地域の代表で組織する統合準備委員会を設置し、統合の時期や統合校の名称、通学方法など統合に必要な事項について協議を行います。 ②統合校の名称等は、生徒・保護者・地域の皆さんから案を募集するなど、御意見をいただきながら進めていきます。
統合準備委員会での協議内容の周知	統合準備委員会での協議内容については、「統合準備委員会だより」で随時お知らせします。

(2) 統合までの主な協議事項及びスケジュール（案）

別紙のとおり

以上